



## 綱領の実践

第2510地区ガバナー

(北海道西部) 北村 實 函館

ロータリーの世界にあっては、ロータリーを「道」としてとらえ、奉仕の実践のためには、自己滅却の境地まで倫理感を高める先達もみられます。純度の高い心を求めて自我の煩悩を断ち、本質的な自分の中の自己を修練し続けることは、非凡のわざであります。私は、欲望や煩悩があるからこそ人間であると考えます。しかし、欲望の命ずるままに豊かで便利な生き方を求めて、過度の自由競争の果てに、何が残るでしょうか。

人心の荒廃した不毛の社会と無惨な地球環境だけではないでしょうか。では、私たちは何をすべきか。第1に職業人として自我の欲望をコントロールすることが急務であります。シェルドンの説く「万物調和の原則」とは人類連帯性の自覚であり、物心一如の認識であります。従って、私たちはこのグローバルな視点によって自らを律することでありましょう。

第2に今こそロータリーを推進すべき時であります。ロータリーを推進するということは、ロータリーの綱領を実践することです。さらに四つのテストに照らして言行を実践すべきでありましょう。

ロータリーは目的意識をもって自己を錬磨するには最適の組織であります。と同時に地域社会改良のエネルギーを求められている奉仕を志す人の団体であります。現在、私たちが当面している数々の課題に対して、行政的手法とは別に当事者意識をもってロータリーの善意の心を地域社会へより強力に浸透させていくことが、また綱領の推進にかなう道であると思うのです。

(船舶用品販売)